

RYUDAI COIL POST

世界展開力強化事業きまぐれニューズレター

2022年上半期・第15号



1.SDGSとリーダーシップについて国際共修から学ぶ～「総合特別講義I（グローバルSDGSオンライン研修）」

#太平洋島嶼地域、#SDGS、#リーダーシップ、#フィリピン、#MABALACAT CITY COLLEGE、#オムニバス、#BEVI

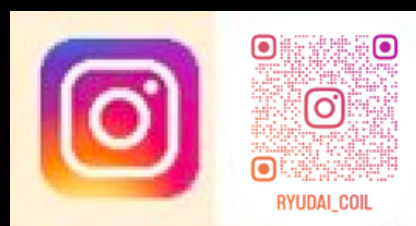
令和3年度後学期の共通教育等総合系科目において、オムニバス講義シリーズ(「総合特別講義I（グローバルSDGsオンライン研修）」)を大学の世界展開力強化事業関連のオンライン短期派遣プログラムとして実施しました。講義の主なテーマは、Sustainable Development Goals (SDGs) やリーダーシップについて理解を深めることです。毎回異なる教員やゲストスピーカーを招き、本学教員以外にも世界展開力強化事業に関わる国内連携大学教員（南山大学、札幌学院大学）による、最新データをもとにした講義を実施し、学生同士でのディスカッションやITを使ったアクティブラーニング形式を取り入れました。

リーダーシップに関する講義では、シンガポールのBlueSky社を通じて、インドネシアやカナダ、アメリカ合衆国（ハワイ）のゲストスピーカーに登壇してもらい、これまでのリーダーシップ経験や学生へのアドバイスについて、簡単なアクティビティを交えてZoomから話していただきました。

事業及びイベント等の詳細につきましては随時事業HPやSNSで発信してまいります

発行元
グローバル教育支援機構
開発室

Email: r-sekaten@acs.u-ryukyu.ac.jp



INSTAGRAM



FACEBOOK

「総合特別講義」(2021年度後期) 講義内容

講義回	講義内容と担当講師・ゲストスピーカー
第1回	プログラムオリエンテーション、BEVIアセスメント#1
第2回	SDGsワークショップ「H.I.R.E.Love」、(グローバル教育支援機構外国語ユニットGeorge MacLean)
第3回	SDGs課題地域に関する講義①Orientation on the Pacific Island Region: Learning about Culture, History, Local Economics, Politics, Religious Beliefs, and People of the Pacific Island Region (国際地域創造学部 石川隆士)
第4回	SDGs課題地域に関する講義②Sustainability in Hawai'i (ハワイ大学退職教員 Jay Hartwell)
第5回	SDGs課題地域に関する講義③Equality and Inequality in the Asia-Pacific (ハワイ大学マノア校 小波津樹)
第6回	SDGs課題地域に関する講義④「熱帯林の破壊と持続可能な森林利用への取り組み」(南山大学 塩寺さとみ)
第7回	課題解決に向けてのリーダーシップ①Biodiversity and the Pacific Island (ハワイ大学アウトリーチ教員 Jeff Kuwabara)
第8回	課題解決に向けてのリーダーシップ②Thought and Theory on Global Leadership (国際地域創造学部 石川隆士教授)
第9回	最終課題発表に向けた中間発表、Mabalakat City Collegeとのオンライン異文化交流会
第10回	課題解決に向けてのリーダーシップ③留学生との国際共修とProject-Based Learning (グローバル教育支援機構留学生ユニット 新城直樹)
第11回	課題解決に向けてのリーダーシップ④Becoming an Agent of Change in Your Community (Don Peel, カナダ)
第12回	SDGs課題地域に関する講義⑤ Leaving No One Left Behind: Role of Minority Languages in Achieving Equity (札幌学院大学 白石英才)
第13回	課題解決に向けてのリーダーシップ⑤ Enlightened Entrepreneurship (Aska Hamakawa, インドネシア)
第14回	最終課題グループ発表準備、Mabalakat City Collegeとのオンライン異文化交流会
第15回	最終課題グループ発表と質疑応答、まとめと振り返り



プログラム最終課題のプレゼンテーションでは、フィリピンのマバラカットシティカレッジ (Mabalakat City College)の学生に質疑応答に参加してもらい、質問を受けた琉大学生もしっかり質問に答える様子が見られました。また学生交流でも大学紹介やエアーキャッチボールなどを行い、オンラインでできる交流を楽しみました。

参加者3名と少人数での講義開講となりましたが、学部生3名(うち1年次2名)が最終的に2単位を修得し、大学院生1名の自由聴講生に参加証書が授与されました。このプログラムを含め、世界展開力強化事業ではプログラム参加学生の異文化理解や環境理解への関心などの内的変化を測るために、BEVI(Beliefs, Events, and Values Inventory)というアセスメントツールを使い、参加者全員に受検してもらっています。客観的尺度を用いた分析を行うことにより、プログラムを通しての教育効果や参加者の傾向などを事前に把握し、今後の学生交流プログラムの運営に活かせるようにしています。アセスメントの結果分析などは、学内FDや本学グローバル支援機構発行の『大学教育センター報*』などでも公開しています。

森林認証制度

第三者機関が、森林経営の持続性や環境保全への配慮等に関する一定の基準に基づいて森林を認証するとともに、認証された森林から産出される木材及び木材製品(認証材)を分別し、表示管理することにより、消費者の選択的な購入を促す仕組み。



Forest Management (FM) 認証



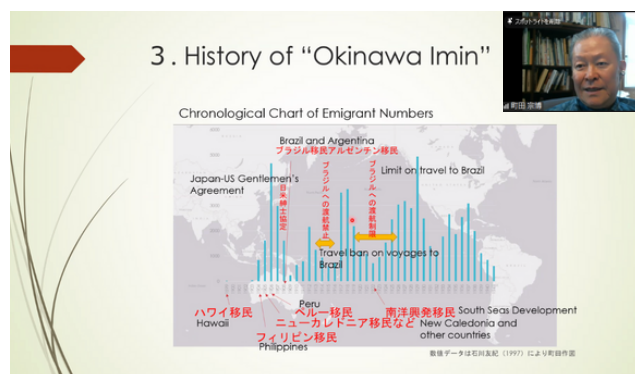
*大学教育センター報URL: https://ged.skr.uryukyu.ac.jp/center_report

2. 海外の学生との対話から沖縄について学び直す～「総合特別講義II（太平洋島嶼地域SDGs）」

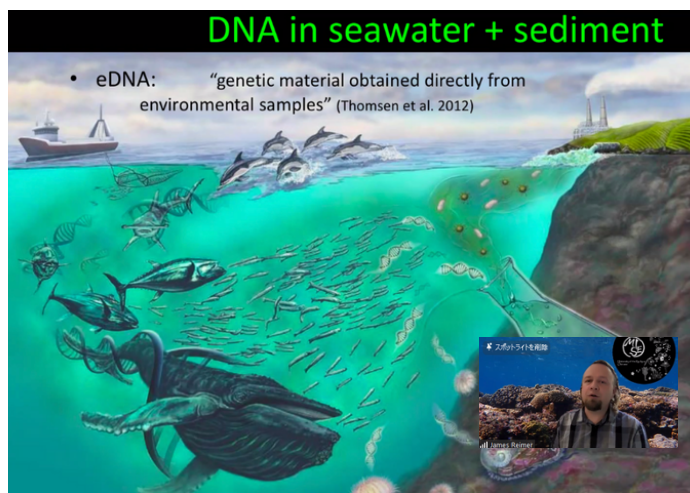
#沖縄、#ユースパネルディスカッション、#バーチャルホームステイ、#世界ウチナンチュ大会

共通教育等総合系科目「総合特別講義II」（太平洋島嶼地域SDGsオンライン研修）の中で、世界展開力強化事業の「太平洋島嶼地域特定課題研修プログラム」（短期派遣・受入）が実施されました。期間は2021年度3月4日（金）～3月18日（金）の約2週間です。

本集中講義のテーマは“*Our Islands, Our Future: Building a Global Network for Preservation and Sustainability of Island Communities, Culture and Environments*”で、2022年10月に沖縄県内で開催される予定の世界ウチナンチュ大会に向けて、講義の中心テーマを沖縄に据えて実施しました。講義では多彩な学際的テーマが取り上げ、外部からのゲスト講師やゲストスピーカーを招聘し、学生からも活発に質問が出ました。参加者は、琉球大学学部生3名、海外連携校（ハワイ大学マノア校、ハワイコミュニティカレッジ）学部生2名の計5名で、他にもユースパネルディスカッションにアメリカ合衆国本土やハワイの沖縄県系人が参加しました。



今回、プログラム初の試みとして、読谷村照屋私邸でのバーチャルホームステイを実施しました。人參シリシリの実演や、三線演奏、車が左車線通行に変わった話などについて、参加者からは日本本土とは異なる戦後の歩みを経験した沖縄について学べる興味深いバーチャルホームステイだったという感想が聞かれました。参加した海外の学生からは“I am excited to learn more about Okinawa and how I can play a role in perpetuating its culture and history through myself (ハワイ大学マノア校)”や、“It was challenging as well as rewarding doing a group project with other students located around the world. I can honestly say I have never done this before. I am quite proud of the outcome (ハワイコミュニティカレッジ)”など、国際共修により視野が広がったことに対する感想やプログラムの最終グループワークを通しての感想が寄せられました。琉大の学生からは、「海岸の清掃、ゴミの分別など小さなことでも積み重ねていけば、海洋の持続可能な開発に向けての保全といった、SDGsの目標の達成につながると思いました（理学部2年次）」など、グループプレゼンテーションを通して学んだ感想が聞かれました。



総合特別講義II(2021年度後期集中講義)

日時	講義内容と担当講師・ゲストスピーカー
2022/3/4	プログラムオリエンテーション、ICTワークショップ等
2022/3/7	「言語によるエンパワーメントと言語復興」（国際地域総合学部 石原昌英 & ハワイ大学ヒロ校Yumiko Ohara）
2022/3/8	「首里城復興プロジェクトについて」（沖縄県立博物館長 田名真之）
2022/3/9	「沖縄の伝統芸能と変容とリーダーシップ」（ハワイ大学マノア校大学院生 澤田星也&井田祐子）
2022/3/10	「基地と島々ー沖縄の安全保障」（ハワイ大学マノア校大学院生 小波津樹）
2022/3/11	「防風林の保全と沖縄の伝統的な景観について」（農学部 陳碧霞）
2022/3/14	「移民とウチナンチュのソフトパワー」（本学名誉教授 町田宗博） 「ヤンバルのUNESCO世界自然遺産登録ー琉球列島の海のエコロジーとダイバーシティについて」（理学部 James Reimer）
2022/3/15	「世界ウチナンチュ・フェスティバル2022ーうちなースピリッツを活かそう！～ユースパネルセッション」（国際創造学部 宮平勝行）」
2022/3/16	「ウチナンチュ・ディアスポラのアイデンティティ」（ハワイ大学マノア校大学院生 澤田星也） 「沖縄読谷地区のオンラインホームステイと文化体験」（外部委託者）
2022/3/17	最終課題グループ発表準備
2022/3/18	最終課題グループ発表準備、最終課題グループ発表、修了式

3.中国の学生と日中両言語で交流

#北京語言大学、#福建師範大学、#中国語、#ZOOM、#同期型COIL

人文社会学部の中村春菜先生（琉球アジア文化・中琉球関係史）の「中国語・中級」クラスで7月に2回に渡り、北京語言大学と福建師範大学との交流が行われました。琉大側の学生11名とほぼ同数の中国側の学生がそれぞれiPad端末を利用してZoomに繋ぎ、1対1で中国語10分、日本語10分、計3セットの実践方式の会話練習を行いました。



今年は福建師範大学が交流締結後25周年目にあたり、初めて同大学とのCOILが行われました。福建師範大学の劉丹先生との交流では、新型コロナウイルス感染症に関する話題にも触れました。2回の交流に参加した学生からは、「中国語の技量はまだまだだが、今回写真や地図を調べて相手に伝わるよう工夫した。拙い中国語だったが、言語が異なる相手と意志が伝わることの楽しさを学ぶことができた。もっと中国語に触れたいと感じたので、これから勉強を続けながら、現地の人と話す機会を見つけないと思う。（国際地域創造学部3年次）」「福建省の武夷山や白茶の話も聞くことができ、福建省の地域性について楽しく会話をすることができた。また楽しかっただけでなく、自分が言いたいことを言えなかった心残りもあるので、今回の交流会は課題を見つけることができたいい機会だと感じている。（人文社会学部2年次）」など感想が寄せられました。

中村先生は北京語言大学の関立丹先生と昨年度も協働でCOIL授業を実施し、双方とも大学間協定に向けて今後も引き続き交流を深めることに意欲を示していらっしゃいます。

